

令和 02 年度 事務事業評価書

新継区分	継続	事務事業名称	008 敬老会・敬老祝金等支給事業				
担当部	030000 福祉部	課・室	030101 介護長寿課	所属長名	金城 美香		

(1) 基本情報

基本目標		003 元気のつながるまち(健康・医療・福祉)	施 策	006 高齢者保健福祉の充実	
事務事業期間		平成21年度 ～	会計種別	01 一般会計	
経費の性質		5 政策的経費	実施計画対象	1:対象	
事業概要	実施方法	直接実施	実施根拠 (法令や条例等)	老人福祉法第5条、糸満市敬老祝金等支給要綱	
	目 的	敬老祝金支給事業：敬老祝金を支給することで、敬老と長寿を祝福するとともに高齢者福祉の増進を図る。 敬老会：多年にわたり社会に貢献してこられた方々のご苦労と功績に感謝し、その長寿を祝い、敬老意識の高揚を図る。			
	対 象	敬老祝金支給事業：満87歳（トーチ祝金）、満96歳（カジマヤー祝金）、当該年度に満100歳になる高齢者（新百歳祝金）、敬老会：75歳以上の高齢者			
	活動内容	敬老祝金の支給や敬老会の開催等行う。 敬老祝金支給事業：満87歳になる方へトーチ祝金、満96歳になる方へカジマヤー祝金、当該年度に満100歳になる方へ新百歳祝金を支給する。 敬老会：75歳以上の方を招待して、長寿を祝う。多くの高齢者の参加を促すため、送迎バスを手配する。			
	意図（成果）	敬老祝金支給事業は、市長名で支給されることから、該当者等家族がとても感謝してくれる。 敬老会は参加者が対象者の10数%と少ないが、余興出演等もあり、参加者に喜ばれている。			

(2) コスト及び成果

	単位	H31年度決算	R02年度予算	R03年度予算	R04年度予算	R05年度予算
事業費	千円	5,249	3,732	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
訳	一般財源	千円	5,249	3,732	0	0

この事務事業の業務量を数値化したもの・・・活動指標			この事務事業の成果を数値化したもの・・・成果指標		
活動指標名	単位	左記の活動指標とした理由	成果指標名	単位	左記の成果指標とした理由
敬老祝金の支給	千円	対象者の支給が事業実績となる	敬老会参加者数	人	敬老会参加者が増えることで、対象者及び家族の意識を知ることができる。
敬老会の開催	回	敬老会の開催			

活動指標	指標名	単位	区分	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
敬老祝金の支給		千円	計画値	5,910	6,232	6,330	7,338	7,680
			実績値	3,120	3,450	0	0	0
敬老会の開催		回	計画値	1	1	0	0	0
			実績値	1	0	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0

成果指標	指標名	単位	区分	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
敬老会参加者数		人	計画値	650	650	650	650	650
			実績値	403	0	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0

妥当性	①事務事業を実施する妥当性	● 目的は明確で上位の施策に結びついている ○ 目的は上位の施策に結びついていない ○ 内部管理経費のため、上位の施策に結びつかない
-----	---------------	--

説明欄

上記の理由を説明欄にお書きください。
高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（第7期）の基本目標3（1）生きがいつくりの推進に掲げられているが、敬老会が新型コロナウイルス感染症の影響から中止となったが、敬老祝金等支給事業を実施し、高齢者を敬い長寿を祝うことが出来た。

必要性	③市民ニーズ	○ 市民のニーズの有無に関わらず実施する必要がある ○ 市民ニーズが増加傾向にある ○ 市民ニーズが現状維持の傾向にある
-----	--------	--

○

市民ニーズが減少傾向にある

●

市民ニーズを把握していない

説明欄

上記の理由を説明欄にお書きください。
敬老会については、新型コロナウイルス感染症の影響から中止となったため、令和2年度は市民ニーズを把握できていない。
敬老祝金等支給事業は市長名で支給され、対象者がとても感謝してくれた。

公平性	⑤受益者負担は適切か	○ 広く市民を対象としていることから適切である ○ 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担があり適切である ○ 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担となっていないため、見直しの余地がある
-----	------------	--

●

受益と負担の適正化を求める事業ではない（社会福祉等を目的とする事業など）

○

公平性の評価になじまない（内部管理業務など）

説明欄

上記の理由を説明欄にお書きください。
敬老会・敬老祝金等支給事業は、高齢者のみが対象であるが、多年にわたる社会貢献へ感謝や敬老と長寿の祝福をする目的がある。

効率性	⑥事業の成果を低下させずにコスト削減を図っているか否か	○ かなり縮減できている ● ある程度縮減できている ○ あまり縮減できない
-----	-----------------------------	--

○

縮減できない

○

効率性の評価になじまない

説明欄

上記の理由を説明欄にお書きください。
敬老会については、自治会等で行うことができれば、会場使用料や送迎バス等の費用をある程度縮減できると思われる。
敬老祝金支給事業については、今後高齢者が増えていくので、あまり縮減はできないと思われる。

有効性	⑦成果指標の目標値(予測値)に対する達成度	○ 目標を上回る ○ 目標を概ね達成している ○ 目標をやや下回る
-----	-----------------------	---

●

目標を下回る

○

成果指標を設定していない

説明欄

上記の理由を説明欄にお書きください。
敬老会は、新型コロナウイルス感染症の影響から中止となった。

(4) 評価の総括

所属長所見 1. 妥当性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 2. 必要性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 3. 公平性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 4. 効率性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 5. 有効性 ○ 適切 ● 見直す余地あり	総合評価 ・全て適切でA評価 ・適切3～4でB評価 ・適切1～2でC評価 ・全て見直しでD評価 B	A 現状どおり事業を進めることが妥当 B 事業内容や事業手法に改善を行う余地あり C 事業縮小または内容や手法に大幅な見直しが必要 D 事業の廃止や休止など、事業のあり方について検討する必要あり
所属長所見 □ 拡大・充実 □ 現状維持 ■ 改善 □ 民間委託 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 □ 完了	改革改善案（総合評価でA評価の場合は記載不要）	